

いぶき野小学校 通学区域調整委員会ニュース

第 2 号
平成18年12月28日
発行:いぶき野小学校通学区域調整委員会事務局

第 2 回調整委員会

☆平成18年12月13日(水)13時から
☆いぶき野小学校視聴覚室にて

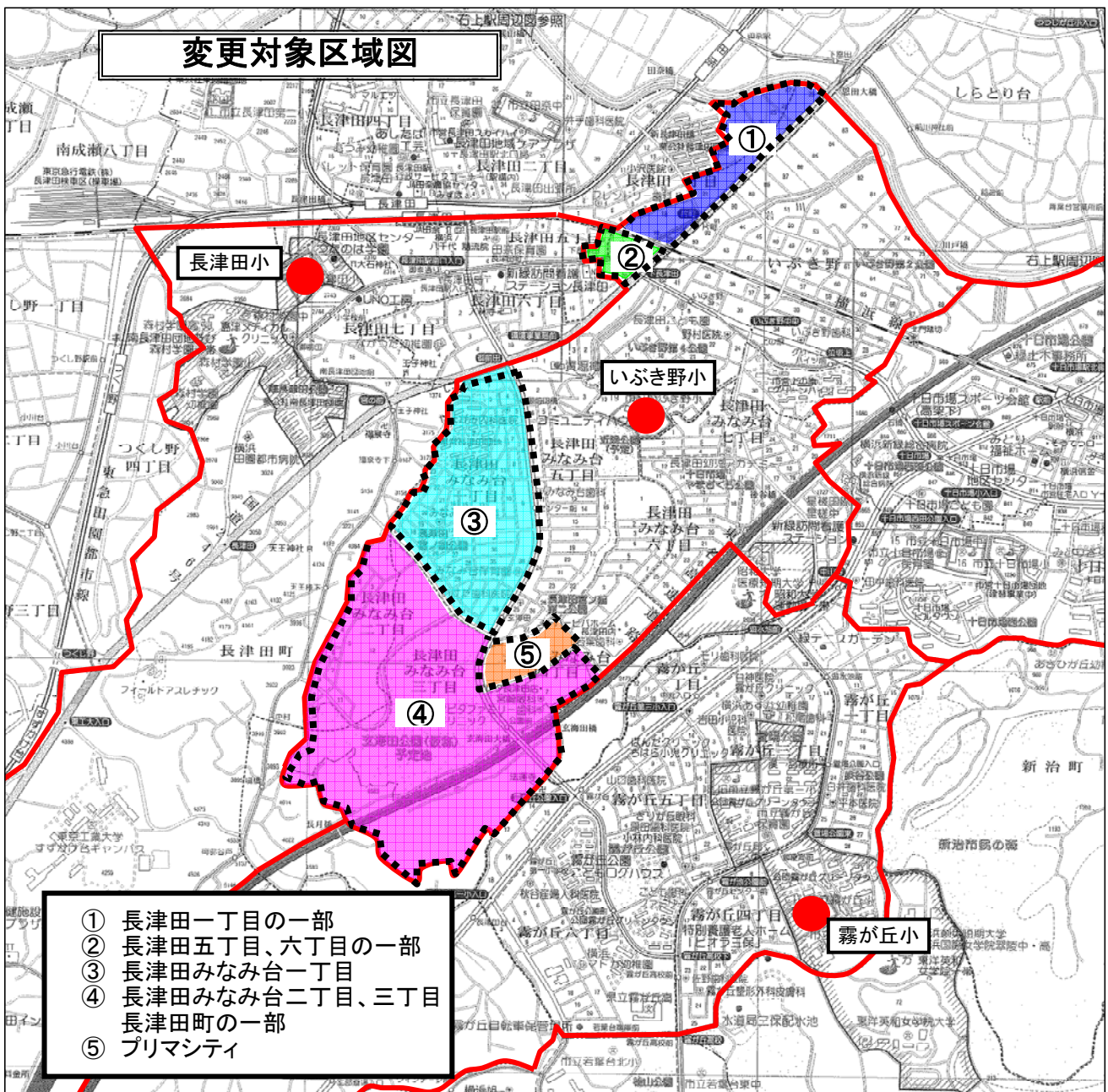
今回の説明・協議内容等

- 1 通学区域変更案について
- 2 通学安全・学校概要について
- 3 調整委員会に寄せられたご意見・ご要望について

今回は通学区域変更案の提示と関連する各小学校の通学安全の取り組み・学校の概要等についての説明を行いました。

次回委員会までに各団体で変更案を説明して、意見を聴取していただき、委員会で報告することになりました。

1 通学区域変更案について



【通学距離・通学時間】

プリマシティ→霧が丘小学校	約1.4km(徒歩22分)
長津田みなみ台三丁目→長津田小学校	約1.4~1.7km(徒歩22~26分)
長津田みなみ台二丁目→長津田小学校	約1.5km(徒歩22分)

通学区域変更の考え方

- 変更時期は、原則、平成20年4月以降とします。(未就学児が対象)
- いぶき野小学校の変更対象区域については、国道246号線や市道霧が丘長津田線などの幹線道路をもとに線引きを行います。
- 変更区域の算定にあたっては平成18年度義務教育人口推計(平成18年5月1日現在の住民基本台帳)をもとに行いますが、今後建設予定の住宅についても以下のとおり算入しています。
都市再生機構用地(長津田みなみ台6丁目1) …20年度戸建て50戸、21年度戸建て50戸
オリックス用地 (長津田みなみ台2丁目12) …20年度集合住宅300戸
(あくまでも見込みとして算入するものであり、実際の計画を示すものではありません。)
- 長津田小学校に近接する地区は、いぶき野小学校の母体校で、教室数に余裕のある長津田小学校への変更を検討。

変更案の検討

案5(※)

【設定区域】

- ①、②、③、④を長津田小へ変更

【対象校の推移】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,152	1,176	1,196	1,198	1,157
	学級数	31	31	32	32	31
長津田小	児童数	513	557	611	680	749
	学級数	16	16	18	20	22

↓

国道246号線北側(①、②)及び長津田小学校に近いエリア(③、④)を学区から外しても、平成24年度31学級となり、いぶき野小学校の過大規模状態(31学級以上)は解消されない。

↓

幼児数・児童数の多い⑤プリマシティについて、通学区域変更の検討が必要。

案5-2

【設定区域】

- ①、②、③、④、⑤を長津田小へ変更

【対象校の推移】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,111	1,074	1,027	963	880
	学級数	30	29	28	27	25
長津田小	児童数	554	659	780	915	1,026
	学級数	17	19	21	25	28

↓

プリマシティを加えた場合、いぶき野小学校の過大規模状態は解消できるものの、平成24年度には長津田小学校の保有教室数(26教室)を超えてしまうため、受入れは困難。

↓

市道霧が丘長津田線より西側をいぶき野小学校から外すだけでは過大規模状態は解消されないため、東側のエリアの一部を、いぶき野小学校から外さざるを得ない。
一方、長津田小学校以外の受入校は近隣校の学級数・教室状況から霧が丘小学校しかありません。
よって、霧が丘小学校に一番近い⑤プリマシティを霧が丘小学校への変更対象としました。
さらにプリマシティ全棟を変更すると、霧が丘小学校の必要普通教室数が最大25教室となり、再編統合に伴う改修工事後の多目的教室6教室を普通教室に転用することになり、霧が丘小学校の保護者の理解が得にくいと考えられます。
このため、⑤プリマシティについては、棟別に区割りして考えざるを得ません。
(ただし、霧が丘小学校へ変更の場合は校舎の内部改造など受入体制を整える必要があるため、変更時期は平成21年4月以降とする。)

【参考】

プリマシティだけを長津田小学校へ変更した場合

【対象校の推移】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,242	1,273	1,293	1,310	1,321
	学級数	34	35	35	35	35

↓

プリマシティだけでは、いぶき野小学校の過大規模状態は解消されないため、他地区と併せての変更の検討が必須！！

※ 案1(設定区域①、②)、案2(設定区域③)、案3(設定区域①、②、③)、案4(設定区域③、④)については、案5よりも設定範囲が狭く、いぶき野小学校の過大規模状態の改善につながらないので、掲載を省略させていただきます。

案6-1から案10-3の考え方

変更案作成の観点

○第一の観点 プリマシティの棟別組み合わせ

プリマシティの5棟(A棟、B棟、C棟、D棟、E棟)を1つの小学校に変更することは、受入校の保有教室数の状況から不可能である。

また、4棟の場合も同様であり、実際には3棟と2棟に分けたうえで、受入校をどこにするのかの検討が必要になる。→各棟の配置等を考慮し、今回提示案では下記5通りの組み合わせを選択。

ABC霧が丘、DE長津田	⇒ 案6	AB長津田、CDE霧が丘	⇒ 案9
ABC霧が丘、DEいぶき野	⇒ 案7	ABいぶき野、CDE霧が丘	⇒ 案10
BCD霧が丘 AE長津田	⇒ 案8		

○第二の観点 ①、②地区の変更の有無

①長津田一丁目の一部 及び ②長津田五丁目、六丁目の一部 については、幼児数、児童数が少ないため、今回の変更にも必ずしも組み込まなければいけないわけではない。

→①、②を変更した場合と、比較的近い②のみを変更した場合、どちらも変更しなかった場合の三通りで考慮。

○第三の観点 兄弟姉妹関係の考慮の有無

通学区域変更時点で既に兄及び姉がいぶき野小学校に就学している場合に、弟及び妹の指定地区外就学によるいぶき野小学校への就学を認めるかどうか。

→兄弟姉妹関係によるいぶき野小学校への就学を認める場合と認めない場合の二通りで考慮。

上記の観点から検討し、以下の案を調整委員会にて各委員に提示。

案6-1

【設定方法】

- ③、④を長津田小へ変更
- ⑤のうちABC棟を霧が丘小、DE棟を長津田小へ変更
(⑤の変更は平成21年度から実施)

【評価】

- 変更区域は広域になるが、いぶき野小の過大規模状態は解消できる。
- 長津田小の児童数、学級数の増加が緩やかで、同校の対応が容易である。
- 霧が丘小の現状の保有教室数で対応可能。

【兄弟姉妹関係を考慮しない場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,164	1,141	1,108	1,063	997
	学級数	32	31	30	29	27
霧が丘小	児童数	657	696	732	753	766
	学級数	18	19	20	21	21
長津田小	児童数	501	553	625	704	772
	学級数	15	15	17	19	21

【兄弟姉妹関係を考慮した場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,179	1,189	1,181	1,150	1,093
	学級数	32	32	32	32	30
霧が丘小	児童数	657	684	713	731	741
	学級数	18	19	20	21	21
長津田小	児童数	486	517	571	639	701
	学級数	15	15	17	19	21

案6-2

【設定区域】

- ②、③、④を長津田小へ変更
- ⑤のうちABC棟を霧が丘小、DE棟を長津田小へ変更
(⑤の変更は平成21年度から実施)

【評価】

- 変更区域は広域になるが、いぶき野小の過大規模状態は解消できる。
- 長津田小の児童数、学級数の増加が案6-1と比較して急ではあるが、受入は可能である。
- 霧が丘小の現状の保有教室数で対応可能。

【兄弟姉妹関係を考慮しない場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,161	1,131	1,094	1,041	969
	学級数	32	31	30	29	27
霧が丘小	児童数	657	696	732	753	766
	学級数	18	19	20	21	21
長津田小	児童数	504	563	639	726	800
	学級数	15	15	17	20	22

【兄弟姉妹関係を考慮した場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,178	1,184	1,172	1,135	1,072
	学級数	32	32	32	31	29
霧が丘小	児童数	657	684	713	731	741
	学級数	18	19	20	21	21
長津田小	児童数	487	522	580	654	722
	学級数	15	15	17	19	21

案6-3

【設定区域】

- ①、②、③、④を長津田小へ変更
- ⑤のうちABC棟を霧が丘小、DE棟を長津田小へ変更
(⑤の変更は平成21年度から実施)

【評価】

- 変更区域は広域になるが、いぶき野小の過大規模状態は解消できる。
- 長津田小の児童数、学級数の増加が案6-1と比較して急ではあるが、受入は可能である。
- 霧が丘小の現状の保有教室数で対応可能。

【兄弟姉妹関係を考慮しない場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,152	1,115	1,068	1,004	921
	学級数	31	30	29	28	26
霧が丘小	児童数	657	696	732	753	766
	学級数	18	19	20	21	21
長津田小	児童数	513	579	665	763	848
	学級数	16	17	20	21	24

【兄弟姉妹関係を考慮した場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,171	1,170	1,149	1,102	1,028
	学級数	32	31	31	30	28
霧が丘小	児童数	657	684	713	731	741
	学級数	18	19	20	21	21
長津田小	児童数	494	536	603	687	766
	学級数	15	15	17	20	23

案7-1

【設定区域】

- ③、④を長津田小へ変更
- ⑤のうちABC棟を霧が丘小へ変更、DE棟はいぶき野小。
(⑤の変更は平成21年度から実施)

【評価】

- 兄弟を考慮した場合、平成24年度でも32クラスで、いぶき野小の過大規模の状態は解消されない。
- 長津田小の児童数、学級数の増加が緩やかで、同校の対応が容易である。
- 霧が丘小の現状の保有教室数で対応可能。

【兄弟姉妹関係を考慮しない場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,164	1,163	1,162	1,146	1,096
	学級数	32	31	31	31	30
霧が丘小	児童数	657	696	732	753	766
	学級数	18	19	20	21	21
長津田小	児童数	501	531	571	621	673
	学級数	15	15	16	18	20

【兄弟姉妹関係を考慮した場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,179	1,203	1,218	1,208	1,164
	学級数	32	32	33	33	32
霧が丘小	児童数	657	684	713	731	741
	学級数	18	19	20	21	21
長津田小	児童数	486	503	534	581	630
	学級数	15	14	15	17	19

案7-2

【設定区域】

- ②、③、④を長津田小へ変更
- ⑤のうちABC棟を霧が丘小へ変更、DE棟はいぶき野小。
(⑤の変更は平成21年度から実施)

【評価】

- 兄弟を考慮した場合、平成24年度でも32クラスで、いぶき野小の過大規模の状態は解消されない。
- 長津田小の児童数、学級数の増加が緩やかで、同校の対応が容易である。
- 霧が丘小の現状の保有教室数で対応可能。

【兄弟姉妹関係を考慮しない場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,161	1,153	1,148	1,124	1,068
	学級数	32	31	31	31	29
霧が丘小	児童数	657	696	732	753	766
	学級数	18	19	20	21	21
長津田小	児童数	504	541	585	643	701
	学級数	15	15	16	18	20

【兄弟姉妹関係を考慮した場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,178	1,198	1,209	1,193	1,143
	学級数	32	32	33	33	32
霧が丘小	児童数	657	684	713	731	741
	学級数	18	19	20	21	21
長津田小	児童数	487	508	543	596	651
	学級数	15	14	15	17	19

案7-3

【設定区域】

- ①、②、③、④を長津田小へ変更
- ⑤のうちABC棟を霧が丘小へ変更、DE棟はいぶき野小。
(⑤の変更は平成21年度から実施)

【評価】

- 変更区域は広域になるが、いぶき野小の過大規模状態は解消できる。
- 長津田小の児童数、学級数の増加が緩やかで、同校の対応が容易である。
- 霧が丘小の現状の保有教室数で対応可能。

【兄弟姉妹関係を考慮しない場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,152	1,137	1,122	1,087	1,020
	学級数	31	30	30	29	27
霧が丘小	児童数	657	696	732	753	766
	学級数	18	19	20	21	21
長津田小	児童数	513	557	611	680	749
	学級数	16	16	18	20	22

【兄弟姉妹関係を考慮した場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,171	1,184	1,186	1,160	1,099
	学級数	32	32	32	32	30
霧が丘小	児童数	657	684	713	731	741
	学級数	18	19	20	21	21
長津田小	児童数	494	522	566	629	695
	学級数	15	15	16	18	19

案8-1

【設定区域】

- ③、④を長津田小へ変更
- ⑤のうちBCD棟を霧が丘小へ変更、AE棟はいぶき野小。
- (⑤の変更は平成21年度から実施)

【評価】

- 兄弟を考慮した場合、平成24年度でも31クラスで、いぶき野小の過大規模の状態は解消されない。
- 長津田小の児童数、学級数の増加が緩やかで、同校の対応が容易である。
- 兄弟を考慮しない場合、霧が丘小の保有教室数では対応不可能なため、改修等の必要性あり。

【兄弟姉妹関係を考慮しない場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,164	1,161	1,148	1,126	1,071
	学級数	32	31	31	31	29
霧が丘小	児童数	657	698	746	773	791
	学級数	18	19	20	21	22
長津田小	児童数	501	531	571	621	673
	学級数	15	15	16	18	20

【兄弟姉妹関係を考慮した場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,179	1,201	1,207	1,192	1,145
	学級数	32	32	32	32	31
霧が丘小	児童数	657	686	724	747	760
	学級数	18	19	20	21	21
長津田小	児童数	486	503	534	581	630
	学級数	15	14	15	17	19

案8-2

【設定区域】

- ②、③、④を長津田小へ変更
- ⑤のうちBCD棟を霧が丘小へ変更、AE棟はいぶき野小。
- (⑤の変更は平成21年度から実施)

【評価】

- 変更区域は広域になるが、いぶき野小の過大規模状態は解消できる。
- 長津田小の児童数、学級数の増加が緩やかで、同校の対応が容易である。
- 兄弟を考慮しない場合、霧が丘小の保有教室数では対応不可能なため、改修等の必要性あり。

【兄弟姉妹関係を考慮しない場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,161	1,151	1,134	1,104	1,043
	学級数	32	31	31	31	29
霧が丘小	児童数	657	698	746	773	791
	学級数	18	19	20	21	22
長津田小	児童数	504	541	585	643	701
	学級数	15	15	16	18	20

【兄弟姉妹関係を考慮した場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,178	1,196	1,198	1,177	1,124
	学級数	32	32	32	32	30
霧が丘小	児童数	657	686	724	747	760
	学級数	18	19	20	21	21
長津田小	児童数	487	508	543	596	651
	学級数	15	14	15	17	19

案8-3

【設定区域】

- ①、②、③、④を長津田小へ変更
- ⑤のうちBCD棟を霧が丘小へ変更、AE棟はいぶき野小。
- (⑤の変更は平成21年度から実施)

【評価】

- 変更区域は広域になるが、いぶき野小の過大規模状態は解消できる。
- 長津田小の児童数、学級数の増加が緩やかで、同校の対応が容易である。
- 兄弟を考慮しない場合、霧が丘小の保有教室数では対応不可能なため、改修等の必要性あり。

【兄弟姉妹関係を考慮しない場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,152	1,135	1,108	1,067	995
	学級数	31	30	30	29	27
霧が丘小	児童数	657	698	746	773	791
	学級数	18	19	20	21	22
長津田小	児童数	513	557	611	680	749
	学級数	16	16	18	20	22

【兄弟姉妹関係を考慮した場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,171	1,182	1,175	1,144	1,080
	学級数	32	32	32	32	30
霧が丘小	児童数	657	686	724	747	760
	学級数	18	19	20	21	21
長津田小	児童数	494	522	566	629	695
	学級数	15	15	16	18	19

案9-1

【設定区域】

- ③、④を長津田小へ変更
- ⑤のうちAB棟を長津田小へ変更、CDE棟は霧が丘小。
- (⑤の変更は平成21年度から実施)

【評価】

- 変更区域は広域になるが、いぶき野小の過大規模状態は解消できる。
- 長津田小の児童数、学級数の増加が緩やかで、同校の対応が容易である。
- 兄弟を考慮しない場合、霧が丘小の保有教室数では対応不可能なため、改修等の必要性あり。

【兄弟姉妹関係を考慮しない場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,164	1,141	1,108	1,063	997
	学級数	32	31	30	29	27
霧が丘小	児童数	657	695	746	780	798
	学級数	18	19	20	21	22
長津田小	児童数	501	554	611	677	740
	学級数	15	15	17	19	21

【兄弟姉妹関係を考慮した場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,179	1,189	1,181	1,150	1,093
	学級数	32	32	32	32	30
霧が丘小	児童数	657	682	720	744	757
	学級数	18	19	20	21	21
長津田小	児童数	486	519	564	626	685
	学級数	15	15	16	18	20

案9-2

【設定区域】

- ②、③、④を長津田小へ変更
- ⑤のうちAB棟を長津田小へ変更、CDE棟は霧が丘小。
(⑤の変更は平成21年度から実施)

【評価】

- 変更区域は広域になるが、いぶき野小の過大規模状態は解消できる。
- 長津田小の児童数、学級数の増加が緩やかで、同校の対応が容易である。
- 兄弟を考慮しない場合、霧が丘小の保有教室数では対応不可能なため、改修等の必要性あり。

【兄弟姉妹関係を考慮しない場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,161	1,131	1,094	1,041	969
	学級数	32	31	30	29	27
霧が丘小	児童数	657	695	746	780	798
	学級数	18	19	20	21	22
長津田小	児童数	504	564	625	699	768
	学級数	15	15	17	19	21

【兄弟姉妹関係を考慮した場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,178	1,184	1,172	1,135	1,072
	学級数	32	32	32	31	29
霧が丘小	児童数	657	682	720	744	757
	学級数	18	19	20	21	21
長津田小	児童数	487	524	573	641	706
	学級数	15	15	17	19	20

案9-3

【設定区域】

- ①、②、③、④を長津田小へ変更
- ⑤のうちAB棟を長津田小へ変更、CDE棟は霧が丘小。
(⑤の変更は平成21年度から実施)

【評価】

- 変更区域は広域になるが、いぶき野小の過大規模状態は解消できる。
- 長津田小の児童数、学級数の増加が案9-1と比較して急ではあるが、受入は可能である。
- 兄弟を考慮しない場合、霧が丘小の保有教室数では対応不可能なため、改修等の必要性あり。

【兄弟姉妹関係を考慮しない場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,152	1,115	1,068	1,004	921
	学級数	31	30	29	28	26
霧が丘小	児童数	657	695	746	780	798
	学級数	18	19	20	21	22
長津田小	児童数	513	580	651	736	816
	学級数	16	17	19	21	24

【兄弟姉妹関係を考慮した場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,171	1,170	1,149	1,102	1,028
	学級数	32	31	31	30	28
霧が丘小	児童数	657	682	720	744	757
	学級数	18	19	20	21	21
長津田小	児童数	494	538	596	674	750
	学級数	15	15	17	19	21

案10-1

【設定区域】

- ③、④を長津田小へ変更
- ⑤のうちAB棟はいぶき野小、CDE棟は霧が丘小へ変更。
(⑤の変更は平成21年度から実施)

【評価】

- 兄弟を考慮した場合、平成24年度でも31クラスで、いぶき野小の過大規模の状態は解消されない。
- 長津田小の児童数、学級数の増加が緩やかで、同校の対応が容易である。
- 兄弟を考慮しない場合、霧が丘小の保有教室数では対応不可能なため、改修等の必要性あり。

【兄弟姉妹関係を考慮しない場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,164	1,164	1,148	1,119	1,064
	学級数	32	31	31	31	29
霧が丘小	児童数	657	695	746	780	798
	学級数	18	19	20	21	22
長津田小	児童数	501	531	571	621	673
	学級数	15	15	16	18	20

【兄弟姉妹関係を考慮した場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,179	1,205	1,211	1,195	1,148
	学級数	32	32	32	32	31
霧が丘小	児童数	657	682	720	744	757
	学級数	18	19	20	21	21
長津田小	児童数	486	503	534	581	630
	学級数	15	14	15	17	19

案10-2

【設定区域】

- ②、③、④を長津田小へ変更
- ⑤のうちAB棟はいぶき野小、CDE棟は霧が丘小へ変更。
(⑤の変更は平成21年度から実施)

【評価】

- 変更区域は広域になるが、いぶき野小の過大規模状態は解消できる。
- 長津田小の児童数、学級数の増加が緩やかで、同校の対応が容易である。
- 兄弟を考慮しない場合、霧が丘小の保有教室数では対応不可能なため、改修等の必要性あり。

【兄弟姉妹関係を考慮しない場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,161	1,154	1,134	1,097	1,036
	学級数	32	31	31	30	28
霧が丘小	児童数	657	695	746	780	798
	学級数	18	19	20	21	22
長津田小	児童数	504	541	585	643	701
	学級数	15	15	16	18	20

【兄弟姉妹関係を考慮した場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,178	1,200	1,202	1,180	1,127
	学級数	32	32	32	32	30
霧が丘小	児童数	657	682	720	744	757
	学級数	18	19	20	21	21
長津田小	児童数	487	508	543	596	651
	学級数	15	14	15	17	19

案10-3

【設定区域】

- ①、②、③、④を長津田小へ変更
- ⑤のうちAB棟はいぶき野小、CDE棟は霧が丘小へ変更。
- (⑤の変更は平成21年度から実施)

【評価】

- 変更区域は広域になるが、いぶき野小の過大規模状態は解消できる。
- 長津田小の児童数、学級数の増加が緩やかで、同校の対応が容易である。
- 兄弟を考慮しない場合、霧が丘小の保有教室数では対応不可能なため、改修等の必要性あり。

【兄弟姉妹関係を考慮しない場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,152	1,138	1,108	1,060	988
	学級数	31	30	30	29	27
霧が丘小	児童数	657	695	746	780	798
	学級数	18	19	20	21	22
長津田小	児童数	513	557	611	680	749
	学級数	16	16	18	20	22

【兄弟姉妹関係を考慮した場合】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,171	1,186	1,179	1,147	1,083
	学級数	32	32	32	32	30
霧が丘小	児童数	657	682	720	744	757
	学級数	18	19	20	21	21
長津田小	児童数	494	522	566	629	695
	学級数	15	15	16	18	19

上記案について、委員は各団体に説明し、次回以降の委員会で、検討していくこととしました。

2 通学安全・学校概要について

関係各校の通学安全に関する取り組み

- (1)長津田小学校
 - ・班別に集団登校を実施。
 - ・下校は学年ごとに同時刻・同一方向の児童は複数で下校するよう指導。
 - ・学援隊による校内巡視や地域での見守り活動も併せて実施。
- (2)霧が丘小学校
 - ・集団登校は4月、長期休業期間終了後、年度末の2月か3月頃、1週間程度実施。
 - ・1、2年生の下校については完全同時下校とし、3年生以上にも複数下校を指導。
 - ※長津田みなみ台地区から通学することになれば、環状4号道路を横断し、歩行者専用道路(通称:赤道)を使って通学するルートが考えられる。
- (3)いぶき野小学校
 - ・班別に集団登校を実施。
 - ・下校は学年別下校で、当番制によるPTAの見回り活動、校門での保護者の見回りを実施。

関係各校の概要・沿革

- (1)長津田小学校
 - 【沿革】
 - ・ 明治6年6月25日開校
 - ・ 明治からの伝統校で、昭和22年4月、学校教育法の施行により、横浜市立長津田小学校と改称
 - 【同校の特徴等】
 - ・ 長津田玄海田地区の開発にともない、この地区の貴重な野草(200種を超える)を運んでつくられた「野草園」が敷地にあり、これを学習材にし、この園をつくり、守ってこられた地域の方を先生に迎え、総合的な学習に取り組んでいる。
 - ・ 平成14年度から学年の壁を越えた「たてわり活動」を重視し、「全校遠足」や「地域清掃」、「たてわり交歓給食」など実施。
 - ・ 長津田駅から近く(徒歩約8分)「放課後キッズクラブ」を開設(H16年9月)。
 - ・ 国語科を重点教科とした表現力の育成と健康教育「いのちの学習」に取り組んでいる。
- (2)霧が丘小学校
 - 【沿革】
 - ・ 平成18年4月1日開校
 - ・ 平成16年度に、緑区霧が丘地区の小学校(霧が丘第一小、霧が丘第二小、霧が丘第三小)の小規模校の教育環境の向上を図るため、地域住民や保護者代表、学校関係者で構成する「霧が丘地区小規模校再編検討委員会」を設置し、再編統合を決定。
 - ・ 霧が丘地区の小規模校3校を再編統合し、平成18年4月に霧が丘小学校(旧霧が丘第二小校舎を使用)として開校した。
 - 【同校の特徴等】
 - ・ 教育の特色である「英語教育や情報教育の推進」、「小中一貫教育」などに、継続的に取り組んでいる。
- (3)いぶき野小学校
 - 【沿革】
 - ・ 平成5年4月1日開校
 - ・ 長津田小学校より分離新設。
 - ・ 平成14年度に校舎(3階建)を増築
 - 【同校の特徴等】
 - ・ 学校基礎学力の向上、地域特性を活かした総合的な学習の実践など取り組んでいる。

3 調整委員会に寄せられた主なご意見・ご要望について

★ プリマシティ在住者が学区変更されると聞いた。本当なのか。

→ いぶき野小の過大規模の改善と学校規模の平準化を図るため、学区変更により対応することとします。

★ 国道246号線に関して、安全性配慮・対策について知りたい。

→ 通学安全対策については、委員会で対応策を検討していきます。

★ プリマシティから長津田小学校までは2km以上あるのではないかと。低学年の児童が毎日通学することが可能と考えているのか。

→ 本市では、望ましい通学距離として、小学校の場合、片道おおよそ2km以内としています。プリマシティから長津田小へは1.74kmです。

★ 公募委員がないのが気になる。

→ 地域住民の代表として、自治会、町内会長やPTA役員などをお願いしています。

★ 委員会を公開してほしい。

→ 調整委員会の傍聴については、委員が傍聴者を意識して意見を述べにくくなること、委員会の審議状況が、傍聴者から地域に不正確に伝わる恐れがあることから、第1回の調整委員会において、委員会として傍聴は認めないことを決定しています。なお、委員会の検討状況などは調整委員会ニュースを発行し、情報提供しています。

★ 委員でない人の意見も表明できるようにしてほしい。

→ 学区変更に関する意見等については、EメールやFAXなどでお受けしています。

★ 集団登下校は新1年生だけで行わせるのか。とても心配だ。

→ 通学安全対策については、委員会で対応策を検討していきます。

★ いぶき野小学校に兄弟が通っていると、いぶき野小学校に入れるというが本当か。そうなると、地区(ご近所・マンション)で長津田小学校に通う新1年生が1~2名になり、子供も不安を感じている。

→ 今後、調整委員会において検討することとしており、現段階で未定です。

★ 長津田小学校の人数を増やすことより、いぶき野小学校の人数を減らすことを考えて欲しい。田奈小学校や十日市場小学校や霧が丘小学校に通える地区の調整も視野に入れるべきだと思う。

→ 通学区域の変更にあたっては、受入校の学校規模(学級数及び保有教室数)、通学時間・通学距離、地域コミュニティとの関係など総合的に配慮して決定していきますが、田奈小学校及び十日市場小学校は児童数が増加傾向にあるため、困難です。

★ 全学年が新しい学区に移動すれば、登下校や兄弟の問題も解決するのではないかと。

→ 学校新設に伴う学区変更については、該当区域の在籍児童も対象となりますが、一般的な学区変更は、在籍児童は対象外としています。

※ 調整委員会に寄せられた意見・要望については、十分配慮しながら、検討していきます。

委員会での主なご意見・ご質問

★ なぜ、いまになって霧が丘小学校への変更の話が出てきたのか。

→ これまで長津田小学校としてきましたが、変更案を作成する中で、同校の保有教室数が不足することが判明したため、霧が丘小学校も受入れ対象校として検討することとしました。(事務局)

★ 霧が丘小学校の統合を遅らせて、プリマシティを霧が丘第三小学校へ変更すればよかったのではないかと。

→ プリマシティを旧霧が丘第三小学校に変更すれば、同校は適正規模になりますが、残された旧霧が丘第一小学校と旧霧が丘第二小学校は統合しても小規模校(11学級以下)になってしまうという問題がありました。(事務局)

★ 平成20年度に学区変更するのであれば、その兄弟は平成19年度から長津田小学校に変更し、そろって平成20年度を迎えられないのか。

→ 今回は変更案の提示のみとさせていただき、具体的な内容は各団体の意見聴取を踏まえ、次回委員会で検討していただくこととしたい。(事務局)

調整委員について、変更がありました。

今回、下記のとおり委員の変更及び就任がありました。(敬称略)

プリマシティ管理組合代表 山田 晃嗣 (変更)
霧が丘小学校校長 教賀谷 誠 (新任)

横浜市教育委員会の基本方針、いぶき野小学校通学区域調整委員会の検討内容等は

ホームページでもご覧いただけます。

・基本方針など <http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/gakku.html>

・いぶき野小学校通学区域調整委員会 <http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/gakkucho.html>



いぶき野小学校通学区域調整委員会は、皆さまからのご意見をいただいております。

FAXかEメールにて、事務局までご連絡ください。

いぶき野小学校通学区域調整委員会事務局
横浜市教育委員会事務局 学校計画課

FAX:045-651-1417
Eメール:ky-ibukino@city.yokohama.jp
TEL:045-671-3253

